

# 経済動向レポート

(R7年10月～12月を中心として)

令和8年4月 むかわ町商工会

本レポートは、次の各調査等を資料としてDI値を取りまとめたものを中心に取りまとめたものです。利用させて頂いた資料は、次のとおりです。レポート中においては、報告名称を使用させていただきます。

## 【調査資料名】

月例経済報告：北海道	北海道の景気に関する各種データや、企業からの聞き取りによる報告
調査ニュース：北海道銀行	北海道の各種指標からみた道内経済動向ニュース
とましん景況レポート：苫小牧信用金庫	主に胆振管内でのD.I.調査結果
中小企業景況調査：北海道商工会連合会	商工会地区でのD.I.調査結果

※D.I.指数：構成比(%)の差(「良い」-「悪い」による指数) ▲は、D.I.指数がマイナスになっている状態。

D.I.は景気に敏感な諸指標を選び、そのうちで上昇(拡張)している指標の割合を示すもので、景気局面の判断、予測、景気の転換点の判定に用います。D.I.は景気局面の方向性を表すもので、D.I.の大きさ自体は景気の拡張・後退の大きさとは直接関係ないとされます。

## 全業種概況

- 3月の月例経済報告では、令和8年1月の経済指標を中心にみて、道内の経済動向は「持ち直しの動きが続いている」とし、前回と同じ表現となっている。
- 3月の調査ニュースでは、令和8年1月の経済指標を中心に参考として道内の経済動向は、「道内景気は持ち直し基調が一服している。先行きは、中東情勢の緊迫化による原油高や原料供給不安などから減速する可能性が高まっている。個人消費は足踏みの状況にある一方、観光は過去最高水準で推移している。住宅建築や生産は弱含みで、輸出も持ち直しの動きが一服している。設備投資は持ち直しの動きがみられ、公共工事は高水準を維持している。雇用は人手不足感の強い状態が続いている。」とし、前回の持ち直し基調から足踏み感の強まりが示されている。
- とましん景況レポートでは、令和7年10月～12月期で、業種別では、建設業がプラスの業況指数となっており、製造業・卸売業・小売業では悪化し、運輸業・サービス業で前期比改善となった。売上額・収益面及び人手過不足では「後退」となっている。
- 中小企業景況調査で商工会地区の経済動向をみると、業況では建設業・小売業・サービス業では「後退」し、製造業では前期比改善となった。

業種業況（令和7年10月～令和7年12月期）とましん景況レポートNo.165より

業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（％）の差（「良い」－「悪い」）による指数》

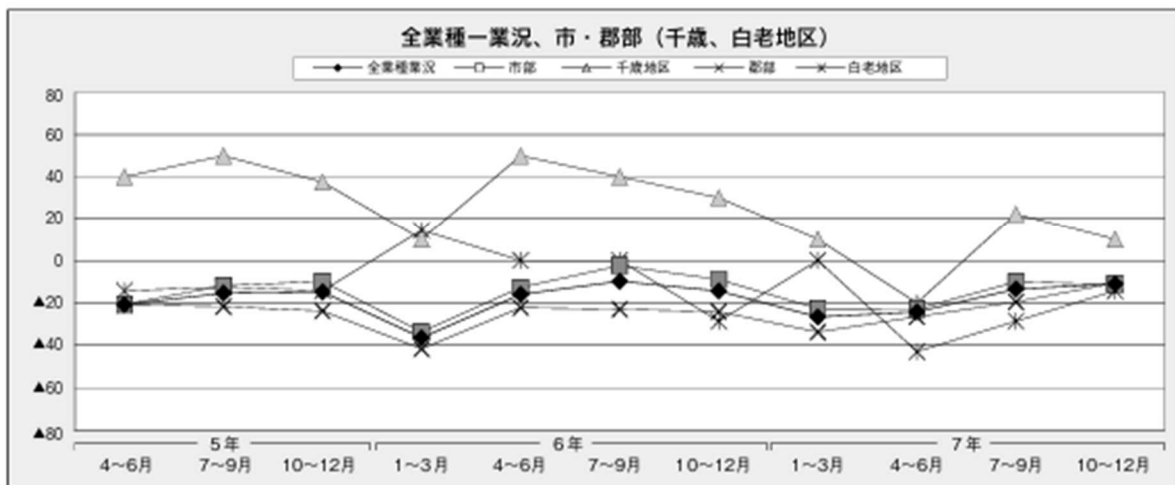
項目	令和5年	令和6年				令和7年				令和8年
	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月 予想
全業種	▲ 14.8	▲ 36.4	▲ 16.0	▲ 9.8	▲ 14.4	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 13.5	▲ 11.1	▲ 30.8
市部	▲ 9.9	▲ 33.6	▲ 12.7	▲ 2.5	▲ 9.0	▲ 22.7	▲ 22.9	▲ 10.1	▲ 11.3	▲ 28.7
千歳地区	37.5	10.0	50.0	40.0	30.0	10.0	▲ 20.0	22.2	10.0	20.0
郡部	▲ 23.8	▲ 41.6	▲ 22.2	▲ 23.0	▲ 24.1	▲ 33.7	▲ 26.5	▲ 19.5	▲ 10.6	▲ 34.5
白老地区	▲ 14.3	14.3	0.0	0.0	▲ 28.6	0.0	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 28.6
製造業	▲ 17.9	▲ 29.2	▲ 12.9	▲ 19.4	▲ 6.9	▲ 13.8	▲ 24.1	▲ 10.0	▲ 37.9	▲ 37.9
卸売業	▲ 13.6	▲ 61.9	▲ 8.7	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 50.0	▲ 39.1	▲ 30.4	▲ 40.9	▲ 57.1
小売業	▲ 36.7	▲ 44.2	▲ 24.1	▲ 7.1	▲ 36.7	▲ 33.3	▲ 38.6	▲ 18.6	▲ 19.6	▲ 28.1
建設業	▲ 6.0	▲ 32.0	▲ 20.0	▲ 16.7	0.0	▲ 30.8	▲ 32.0	▲ 10.7	5.9	▲ 27.5
運輸業	11.8	▲ 29.4	0.0	▲ 23.5	0.0	▲ 37.5	▲ 23.5	▲ 47.1	▲ 5.9	▲ 29.6
サービス業	▲ 13.3	▲ 38.6	▲ 22.7	▲ 2.2	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 10.9	▲ 4.4	0.0	▲ 26.7
鉱業	66.7	33.3	66.7	60.0	50.0	0.0	80.0	80.0	60.0	▲ 60.0
不動産業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 30.0	12.5	22.2	0.0	0.0	11.1

\*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

**全業種**

— 業況判断指数、前期比2.4ポイント改善 —

回答事業所238件（回答率85.9%）



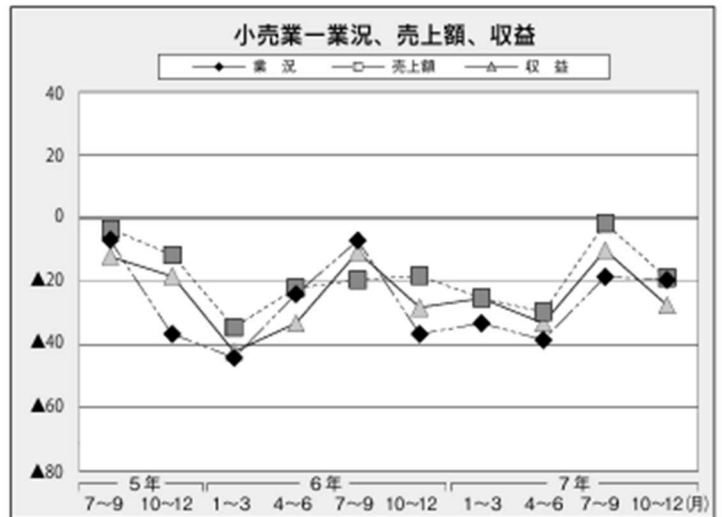
商工会では、下記のような問題の解決のため、補助金や専門家派遣、各種セミナーを開催しております。気になることがありましたら、商工会まで御相談ください

- 主な取組事例: インボイス、事業計画作成、SNS、プレスリリース、商談会対応、POP製作、Google ビジネスプロフィール対策、BCP(事業継続力強化支援計画)策定などのセミナー・個別相談
- : 新商品開発、資金繰り、販売促進のための専門家派遣
  - : HP作成、什器購入、新商品開発、看板導入による販売促進を伴う持続化補助金等の申請のサポート

## 小売業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

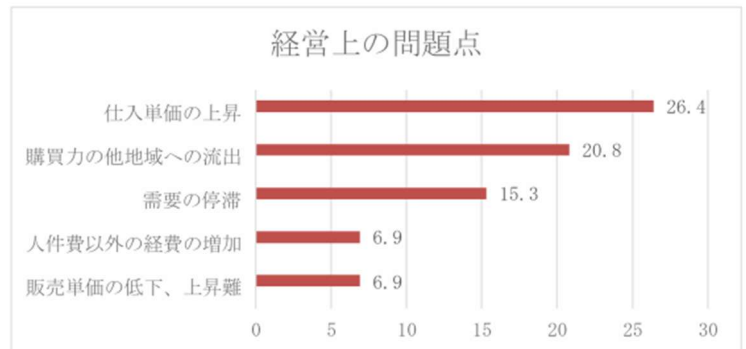
管内小売業 58 社による業況判断指数は「▲19.6」、前期比 1.0 ポイント後退、前年同期比では 17.0 ポイント改善した。地域別では、市部が「▲3.3」前期比 6.0 ポイント改善、郡部は「▲38.5」となり、前期比 8.8 ポイント後退した。売上額指数は「▲19.0」、前期比 17.3 ポイント後退、前年同期比でも 0.6 ポイント後退した。収益指数は「▲27.6」、前期比 17.4 ポイント後退、前年同期比では 0.7 ポイント改善した。



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会

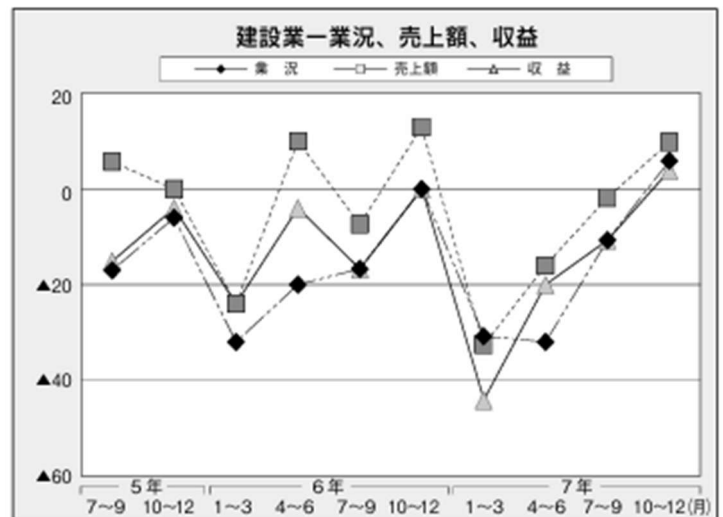
1 位は前回同様「仕入単価の上昇」で、3.7 ポイント増加した。2 位は前回同率 1 位だった「購買力の他地域への流出」で、1.9 ポイント減少した。3 位は「需要の停滞」で、0.7 ポイント減少した。4 位は、同率で「人件費以外の経費の増加」と「販売単価の低下、上昇難」で、「人件費以外の経費の増加」は 1.1 ポイント減少し、「販売単価の低下、上昇難」は 4.2 ポイント増加した。



## 建設業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

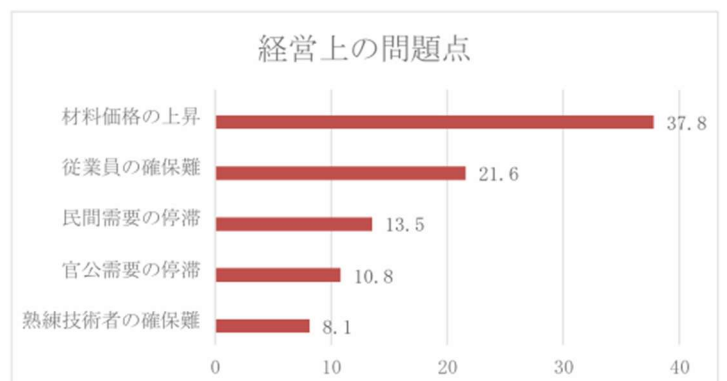
管内建設業 52 社による業況判断指数は「5.9」、前期比 16.6 ポイント改善し、前年同期比でも 5.9 ポイント改善した。地域別では、市部が「11.4」前期比 16.7 ポイント改善し、郡部も「▲6.3」で前期比 16.0 ポイント改善した。売上額指数は「9.8」、前期比 11.6 ポイント改善したが、前年同期比では 3.2 ポイント後退した。収益指数は「3.9」、前期比 14.6 ポイント改善し、前年同期比でも 3.9 ポイント改善した。



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会

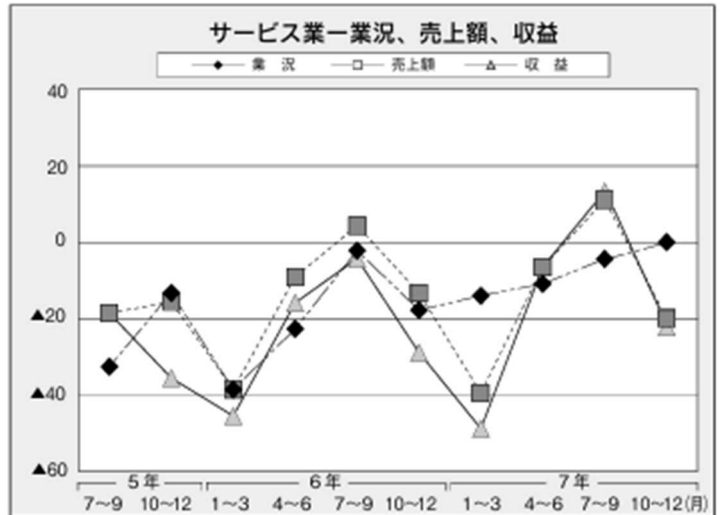
1 位は、前回 2 位だった「材料 価格の上昇」で、21.1 ポイント増加した。2 位は、前回 1 位だった「従業員の確保難」で 9.4 ポイント 減少した。3 位は「民間需要の停滞」で、3.2 ポイント減少した。4 位は「官公需要の停滞」で、3.5 ポイント減少した。5 位は前回 番外の「熟練技術者の確保 難」で、1.0 ポイント増加した。



## サービス業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

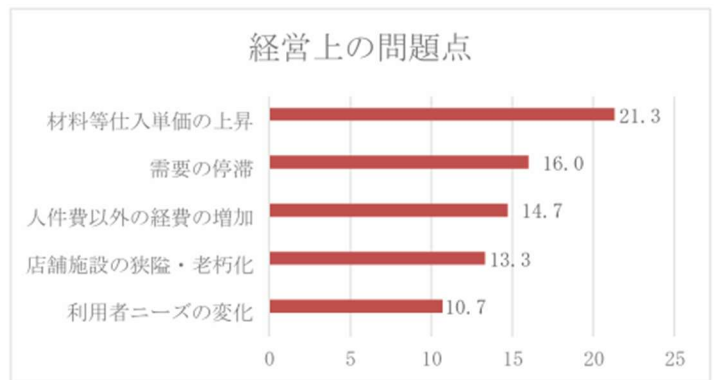
管内サービス業 46 社による業況判断指数は「0.0」、前期比 4.4 ポイント改善し、前年同期比でも 17.8 ポイント改善した。地域別では、市部が「3.1」前期比 6.4 ポイント改善、郡部では「▲7.1」前期比は横這いであった。売上額指数は「▲20.0」、前期比 31.1 ポイント後退、前年同期比も 6.7 ポイントの後退となった。収益指数は「▲22.2」、前期比 35.6 ポイント後退、前年同期比では 6.7 ポイントの改善となった。



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

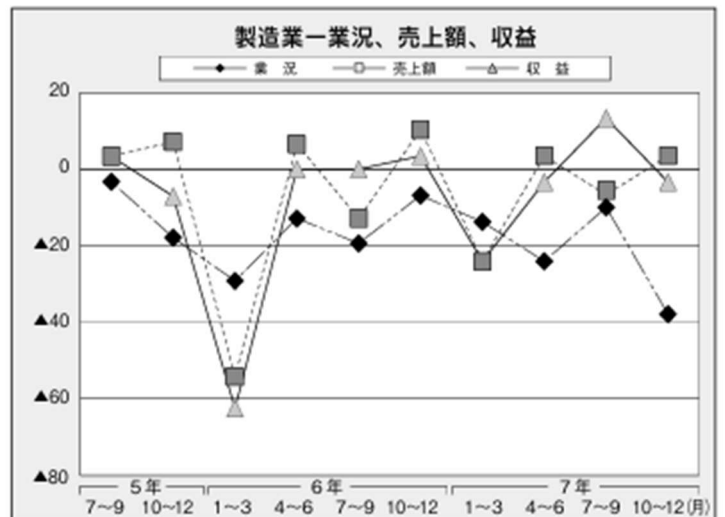
の上昇」で 1.8 ポイント減少した。2 位も前回同様「需要の停滞」で 2.4 ポイント増加した。3 位は前回 5 位だった「人件費以外の経費の増加」で、3.3 ポイント増加した。4 位は「店舗施設の狭隘・老朽化」で、0.8 ポイント増加した。5 位は前回 3 位だった「利用者ニーズの変化」で 3.7 ポイント減少した。



## 製造業

### 1. 業況、売上額、収益 (とましんレポート)

管内製造業 29 社による業況判断指数は「▲37.9」、前期比 27.9 ポイント後退、前年同期比についても 31.0 ポイント後退した。地域別では、市部が「▲47.4」前期比 47.4 ポイント後退、郡部は「▲20.0」前期比 13.3 ポイント改善した。売上額指数は「3.4」、前期比 10.1 ポイント改善したが、前年同期比は 6.9 ポイント後退した。収益指数は「▲3.4」、前期比 16.8 ポイント後退し、前年同期比でも 6.9 ポイントの後退であった



### 2. 経営上の問題点 (中小企業景況調査)

・北海道商工会連合会)

1 位は前回同様「原材料価格の上昇」で、2.3 ポイント増加している。2 位は、前回 4 位だった「需要の停滞」で、8.9 ポイント増加している。3 位は「生産設備の不足・老朽化」で、3.8 ポイント増加している。4 位は「製品ニーズの変化」で、6.7 ポイント減少している。5 位は、前回同様「原材料の不足」であり、4.5 ポイント増加している。

